

かんしや



12月号

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2021
Vol.196



あなたと私は、 赤い羽根でつながっている

「誰かのために なにかをしたい」。そんなつづやぎが、同じ想いを胸に秘めていた多くの人の心を動かし、10月31日、赤い羽根共同募金諫早市支会が主催する「ハロウィントルノンマルシェ」が実現しました。

「諫早のまちが好き!」「地域を元気にしたい!」という思いが結集し、バザーの収益を赤い羽根共同募金に寄付するイベント型募金活動が実現。来場者、出展者、ボランティア等約1,100人にご参加いただきました。

たくさんの笑顔とともに赤い羽根共同募金活動で参加者がつながったイベント。

「誰かのために なにかをしたい」そんなつづやぎを諫早市社会福祉協議会は、これからも大切にしていきます。



出展者のみなさんの胸には赤い羽根とコラボしたヴィヴィくんバッジ

つなぐ・つながる・あなたの思い

ハロウィン・ルノンマルシェは、人と人とのつながりを通して、地域の支え合い活動を深めていくために開催。地域で活躍する人たちが協力して実現したイベントです。イベントで行ったバザーの売り上げは、すべて赤い羽根共同募金に寄付され、地域の福祉活動に取り組む団体や困っている方への支援に使われます。イベントを支えたそれぞれの思いを特集しました。

できることから始めたい

「新型コロナウイルスの影響により生活に困っている人が増えているので、何とかしたい」。諫早地区保護司会の小野さんのつぶやきが、同じ思いを持っていた諫早市老人クラブ連合会や諫早市母子寡婦福祉会をはじめ多くの人の心を動かしました。

すぐに思いついたのは、バザー。バザーであれば、自宅にあるものを必要な人を買ってもらうことで、お金を生み出すことができます。さらに、物が循環することで、環境に配慮したやさしいまちの実現にもつなげることができます。

小野さんは、「日々の生活の中で感じたちょっとした想いを人に伝えたことから始まったこのイベント。多くの人に参加してもらい、たくさんの気持ちが集まった。集まった募金が、困っている人に役立ててもらえると嬉しい」と語りました。



人と人とのつながりを大切に

今回のイベントでは、手作りの雑貨や食べ物など多くの店が出展者として参加。イベントを共に企画したルノン(株)神戸さんは、「自分たちにもできることがきっとある。幅広い年齢層の人が参加できる機会にしたい。」とこの企画に賛同しました。

出展者の胸には、長崎県共同募金会とV・ファーレン長崎が一緒に作ったヴィヴィくんバッジがキラリ。赤い羽根共同募金活動へ協力いただきました。

会場内には、粘土を使って本物そっくりにケーキなどを飾るスイーツデコ体験も。出店者であるMystyle(マイスタイル)の前田さんは、「“Mystyle”は、自分らしさという意味。子育て中のママや若い人が、好きなことで輝ける場を広げ諫早を盛り上げたい」と今回の出展を決めたそうです。



協賛団体 諫早市シルバー人材センター、諫早市手をつなぐ育成会、諫早市老人クラブ連合会
諫早市母子寡婦福祉会、諫早地区保護司会、HOT HOT BOX

参加ボランティア団体 いさはやおもちゃ病院、人形劇いずみ座、絵本の病院ぶっくる
長崎県“人間と性”教育研究協議会

ボランティアの輪を広げる

「ハロウィントルノンマルシェ」では、参加者が楽しみながら赤い羽根共同募金とボランティア活動について関心を持ってもらい、参加するきっかけづくりとして、バザーやボランティア団体の活動コーナーを設けました。

くるくるマーケット（バザー）

食器、タオル、ぬいぐるみなど約500点の品物が寄せられた「くるくるマーケット（バザー）」。

開始前から並ぶ列ができるほど多くの人が集まりました。購入された方からは、「バザーで自分が好きなものを購入することで、募金につながり、何かの助けになることを知った。バザーの形式による募金活動は、子どもも参加しやすい」との声をいただきました。循環型の新しい募金活動のカタチ、次回もお楽しみに。



ミニ本づくり【絵本の病院 ぶっくる】

普段は、図書館の本の修理を行っている「絵本の病院 ぶっくる」。多くの人に本に興味を持ってもらいたい、本を大切にしたいとの思いからミニ本づくりを行いました。

本を作った人、読む人、修理した人など多くの人々の想いを大切に。温かい心を持った人の輪が広がっていきます。

人形劇・紙芝居【人形劇いずみ座】

保育園や高齢者施設などで人形劇や紙芝居の公演を行っている「人形劇いずみ座」。臨場感あふれる人形劇は、「子どもから大人まで楽しめる」と参加者から好評。公演後は、子どもとボランティアの交流もありました。観た人、演じた人の心を和ませ、豊かな人間性を育むことが伝えられていきます。



おもちゃの修理【いさはやおもちゃ病院】

おもちゃを修理し、甦らせる「いさはやおもちゃ病院」。今回の活動では20件の依頼がありました。修理を依頼した山崎さんは、「おもちゃは買ったときは遊ぶけど、壊れたら遊ばなくなる。今回修理してもらうことで、おもちゃを大切にする気持ちが芽生えたら嬉しい。子どもが、修理してくれる年配の方とも交流できて良かった」と話されました。世代を超えた交流が、物を大切にする心を育てていきます。



第56回歳末たすけあい演芸大会 in 小野

12月1日から始まる歳末たすけあい募金運動の一環として、チャリティーの演芸大会を開催します。また、「くるくるマーケット（バザー）」も同時開催。観覧料及びバザーの売上金は、すべて歳末たすけあい募金に寄付されます。

日 時：令和3年12月5日(日)
12時30分 開会
会 場：小野ふれあい会館 多目的ホール
観 覧 料：200円
予定演目：舞踊・社交ダンス・大正琴など

シリーズ地区社協 第26回

人がつながり笑顔

あふれるまちを目指して

多良見東地区社会福祉協議会



| | |
|------|-------------------------|
| 会長 | 草野 敏 |
| 人口 | 6,816人 (令和3年10月1日現在) |
| 高齢化率 | 35.0% |

多良見東地区社会福祉協議会
ってどんなことしているの？

- ふれあいいきいきサロン(8箇所)
- 子育てサロン(2箇所)
- ひとり暮らし高齢者の集い
- 広報紙発行(2回)
- 福祉協力員設置(10人)



焼き菓子の配布の様子

多良見東地区ってどんなところ

教育施設、医療機関や商店街などが近く、生活に必要な環境が整い便利な地区です。長崎市にも諫早市にも交通のアクセスが良いため、ベッドタウンとして発展してきました。この10年の間に、地区の高齢化率が約10%増え、ひとり暮らし高齢者も増えつつあります。住民が安心して暮らせるまちにしていきたいために、地域の支え合いをどのようにしていくかが課題となっています。

多良見東地区社会福祉協議会は、住民同士が支え合うきつかけづくりとして、人と人が出会う機会をつくる取り組みを進めています。

互いにできることを活かす

同社協は、今年9月に、ひとり暮らし高齢者を対象に、ふれあいと見守りを目的とした訪問活動を実施しました。地区の民生委員、福祉協力員等が訪れる際には、焼き菓子の詰め合わせを持参。このお菓子は、地区内にある障害者の就労や生活を支援するNPO法人ドリームパーク・ゆめ工房レーヴが作ったもの。

高齢者の見守り活動に障害者の事業所を活用することで、障害者の自立の支援にもつなげています。

また、同地区には、知的発達に遅れがある生徒たちが通う希望が丘高等特別支援学校があります。同校は、3年前から授業の一環として、清掃技術の向上と社会参加を目的に地区内の公民館を清掃。多良見東地区社協は、学校と地区内の自治会をつなぐ連絡調整を担いました。今年度からは、地区内のふれあいいきいきサロン利用者との交流も予定。生徒にとっては、人生の先輩の話を聞くいい機会となり、高齢者にとっても生徒との交流で活力がもたれます。公民館の清掃活動から始まったつながりは、住民との交流活動に広がっています。

笑顔のある地域でありたい

草野会長は、「地区内には様々な住民や関係者がいる。すべての住民は、どこかで互いにつながり、笑顔があふれる地域になってほしい。高齢者、障害者を含めたすべての住民が、それぞれ出来ることを活かし、つながることと地域はより輝ける。そのきつかけづくりを地区社協で取り組んでいきたい」と今後の抱負を語られました。

ご寄付ありがとうございました

次の皆様から、心温まるご寄付をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切にさせていただきます。

令和3年10月1日～令和3年10月31日受付分

- 【篤志寄付】 ▶樋口 洋子(元女性懇話会一同)様
- 【香典返し】 ▶米田 正様(幸町)【亡長男 英一様】
- 【物品寄付】
 - ▶中央公民館和裁同好会様 雑巾75枚・タオル15枚
 - ▶株式会社轟名水ファーム高来様(高来町) 米200kg
 - ▶前田 幸子様(八天町) 米200kg
 - ▶福富 力様(目代町) 米130kg

12月のふれあい福祉相談

| | | |
|--------|------|--------------------------|
| 無料専門相談 | 開設日 | 12月17日(金) 弁護士 |
| | 開設時間 | 午後1時30分～4時 |
| | 場所 | 諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100 |

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報紙に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。